

「送信ネットワーク測定方法ハンドブック」

1.2 版への主な修正箇所

全体的にエディトリアルな修正、誤りの訂正と曖昧な表現の修正、追加、削除等を実施した。以下にその主なものを記す。

- 1 . 一部の項目のタイトルを変更
- 2 . 「END」、「所要C/N」の定義の明確化。また、「干渉(干渉波)」を改めて定義して「妨害」を「干渉」に統一するとともに、「測定(系)C/N」を「付加C/N」に変更し、改めて定義
- 3 . 「ISDB-T変調器」、「ISDB-T復調器」をそれぞれ「OFDM変調器」、「OFDM復調器」に統一
- 4 . 9.3.3.5、9.3.3.6、9.3.3.7の各項の文中において、「測定系」を「被測定系」に訂正
- 5 . 9.4.1項「測定誤差要因」において、誤差に「±」を付加
- 6 . 10.4節「共通測定項目の測定方法」において、表10-2中の「()」の意味を注記
- 7 . 10.4.1.4、11.5.8の各項「スペクトルマスク」において、記述を修正・変更
- 8 . 10.4.1.6、11.5.9の各項のタイトルを「不要発射」に変更し、一部記述を修正・変更
- 9 . 10.4.2.1項「等価C/N(静特性、動特性)」において、用語「所要C/N」を「C/N」に訂正
- 10 . 10.4.2.7項「IRF特性」において、一部誤りを訂正
- 11 . 10.4.3.1項「遅延時間、入力プランチ間遅延時間差」において、図10-21の一部を訂正
- 12 . 10.5.1.3.1、10.5.1.3.2の各項において、一部記述を修正
- 13 . 10.5.3.3項において、一部記述を修正
- 14 . 10.5.1.3.4項において、「所要C/N」を「等価C/N」に修正
- 15 . 10.5.2.3.1項において、「所要C/N」ほか一部記述を修正・追加
- 16 . 10.5.2.3.2、10.5.2.3.3、10.5.3.3.1、10.5.3.3.2の各項において、一部記述を修正・追加
- 17 . 10.5.4.3.3項において、図10-34の修正および一部記述を修正
- 18 . 11.2節「留意点」において、記述を修正・追加
- 19 . 11.5.2項「等価ノイズ劣化(END)」において、タイトルを「ENDおよび等価C/N」に変更。また、具体的な測定方法を付録A.1に移し、基本部分のみを修正記述。移すにあたって、既存付録A.1との整合や誤解を避ける観点から、付録A.1を大幅に書き換え修正
- 20 . 11.5.4項「同一チャンネル干渉」において、表11-4を削除し、数式記述に修正・変更
- 21 . 11.5.5項「BER」において、図および記述を一部修正
- 22 . A.2節「測定帯域幅について」において、[解説]の記述を書き換え修正
- 23 . A.3節「OFDM波のレベル測定に対する考え方」において、記述を修正・変更
- 24 . B.1.4項「フレーム同期信号の抽出」において、誤記を訂正
- 25 . B.3.4項「フレーム同期信号の抽出」において、一部記述を修正

- 26 . B.4.3 項「測定限界」において、一部記述を削除・修正
- 27 . B.6.2 項「測定系統」において、図 B-11 を一部訂正
- 28 . B.7.2 項「測定系統」において、図 B-13 を一部訂正
- 29 . B.7.5 項「測定原理」において、表 B-2、表 B-4 を一部訂正
- 30 . B.8.5 項「測定原理」において、表 B-6 を一部訂正
- 31 . B.9.5 項「測定精度についての留意点」において、一部記述を訂正
- 32 . B.10.3 項「測定方法」において、一部記述を修正
- 33 . D.2.1 項「ヌルパケットによる BER 測定方法」において、一部記述を修正・追加
- 34 . D.4 節「デジタル放送波受信マージン量の測定」の(1)において、一部記述を削除。また、(3)において、記述および図を一部訂正
- 35 . 付録 E「無線設備規則関連」において、「地上デジタル放送 送信機測定方法ハンドブック」8章と同じになるよう記述を修正

以上